

みんなで創る“あらお旅”推進プロジェクト

— 第 3 期荒尾市観光振興計画 —

令和 7 年度 実施計画

基本方針 1 魅力あるコンテンツづくりと売れる商品造成

KPI 指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
万田坑入坑者数	39,780 人	15,132 人	19,384 人	19,575 人	23,460 人	21,384 人		5 万人
宮崎兄弟生家・資料館入場者数	2,031 人	1,557 人	1,359 人	1,871 人	1,760 人	1,803 人		7 千人
荒尾干潟水鳥・湿地センター入館者数	16,061 人	13,282 人	8,897 人	16,014 人	16,069 人	18,956 人		3 万人
子ども科学館入館者数	3,153 人	1,988 人	1,525 人	2,459 人	4,144 人	5,875 人		1.5 万人
まるごとあらお物産館販売額	841 万円	654 万円	614 万円	74 万円	821 万円	740 万円		1,020 万円
修学旅行宿泊校数（小・中・高）	72 校	39 校	108 校	118 校	171 校	174 校		90 校
訪日宿泊客数	10,044 人	1,147 人	106 人	396 人	4,209 人	5,988 人		3 万人

基本施策① 多種多様なコンテンツづくり

事業名	実施主体	概要
新たな体験プログラムの造成		
炭鉱電車保存整備事業	荒尾市	炭鉱電車について、定期的な動態展示を行う。（第 2・第 4 日曜日）
イベントを活用した魅力づくり		
自治体オリジナルメディアによる地域ブランド創出事業	荒尾市（市公式メディア「ぎゃんすき！あらおちゃん」）	SNS 等を活用し、オンライン、オフラインイベントを企画、運営し、市の魅力や愛着を高めることで交流人口を拡大し、引いては移住・定住、U ターンに繋げる。 イベントについては、音楽や市内事業者とのコラボイベントなど年 10 回程度を予定。

大型イベントの企画・運営	荒尾市観光協会	■夏イベント 荒炎祭後継イベントとして8月開催予定。詳細未定。 ■秋イベント 万田坑関連イベントとして10月開催予定。詳細未定。 ■秋ミニイベント 万田坑関連イベントとして11～12月開催予定。詳細未定。 ■春イベント 万田坑関連イベントとして3月開催予定。詳細未定。
	九州旅客鉄道新玉名駅 荒尾長洲地域資源活用推進協議会 荒尾市	JR九州主催「JR九州ウォーキング」との連携イベント。荒尾市内では年2回開催予定。 ■春編 5/4開催。荒尾長洲地域資源活用推進協議会「感動ウォーキングコース」を活用。立寄りスポットである荒尾干潟水鳥・湿地センター及び金魚と鯉の郷広場で、体験型のおもてなしを実施。 ■秋編 10～11月開催予定。荒尾駅と万田坑を結ぶコースを想定。詳細未定。
	あらお梨の花元気ウォーク実行委員会	■あらお梨の花元気ウォーク 特産品である荒尾梨の認知度アップを目的として3月下旬開催予定。ウォーキング大会形式とし、R6年度の実施状況を踏まえコース見直しを行い、参加者の満足度向上を目指す。
	荒尾市	■デジタル掛け軸 時期、詳細未定。
ご当地グルメ・お土産品開発		
荒尾梨の販路拡大推進事業	JA たまな荒尾梨部会	香港への輸出促進を図り、荒尾梨ブランド「ことのみ」の出荷量の増加、認知度の向上につなげる。

マガキの養殖支援事業	荒尾漁業協同組合	生産備品の拡充による作業効率化や生産体制の強化を図る。 また、新たに人口種苗での養殖試験を実施し、生産量安定化につなげる。
ご当地グルメ PR 事業	荒尾飲食店組合	コロナ渦で始めた、ご当地ハイボール「万田」を更に周知することで、地域に根付くものにする。
地域物産品開発と販売	荒尾市観光協会	物販機能の充実や持続可能な運営体制の構築を図る。 「道の駅あらお（仮称）」の開業も見据えた荒尾の土産品となる自社商品の開発や、WEB での情報発信強化による既存商品の販売促進、EC サイト再開検討等による販路拡大の推進に取り組む。

基本施策② 付加価値の高いコンテンツづくり

既存体験プログラムのブラッシュアップ・ガイドの確保・育成		
万田坑ガイド養成	荒尾市 荒尾市観光協会（指定管理者）	ボランティアガイド「万田坑ファン倶楽部」会員の高齢化や会員数減少を踏まえ、荒尾市観光協会（指定管理者）に向けたガイド研修を実施することで、新たなガイド体制を整える。 また、有料ガイドについても見直しを行い、内容の拡充に取り組む。
子どもガイド交流学习	万田小 三角小 熊本県 荒尾市 宇城市	万田坑の地元・万田小 6 年生と、同じく三池エリア構成資産である三角西港の地元・三角小児童が、相互に万田坑と三角西港をガイドする交流学习により、子どもたちの関心を高め、文化財保護及び将来の万田坑ガイドの人材育成に資することを目指す。 子どもたちが身に着けたガイドスキルを活用できる場についても検討していく。
教育旅行に向けたプログラムのブラッシュアップ・ガイドの育成		
教育旅行プログラムの充実	荒尾玉名教育旅行推進協議会	マジック釣り体験をはじめとする屋外型アクティビティにおける雨天時代替プログラムの整備を行い、教育旅行プログラムの充実を図るとともに、個別案件に応じた受入を行う。 ■ R7 年度受入予定 6 月 9 日。マジック釣り体験。兵庫県神戸市の中学校。

基本施策③ 旅行商品の造成

旅行業者等と連携した旅行商品造成		
旅行展示会	熊本県観光連盟	国内の旅行展示会へのブース出展。 市の PR 素材を提供し事業者等に向けた情報発信を行う。
九州観光推進機構主催の国内旅行会社 向け観光素材相談会	熊本県観光連盟	半期に 1 度（8 月と 3 月頃）観光素材集を作成し、東京・大阪・福岡にて相談会を実施。 市の PR 素材を提供し事業者等に向けた情報発信を行う。

基本方針 2 情報収集の段階を踏まえた効果的なプロモーション

KPI 指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
荒尾市観光協会 HP 閲覧数	—	90,450 件	116,609 件	193,861 件	167,947 件	160,077 件		99,500 件
荒尾市観光協会 Instagram の フォロワー数	—	890 人	1,386 人	1,600 人	2,096 人	2,807 人		2,090 人
観光アプリダウンロード数	—	—	18 件	771 件	2,340 件	2,822 件		5,000 件

基本施策① 「旅マエ」に対する情報発信の強化

事業名	実施主体	概要
SNS 等による情報発信の強化		
国内向け情報発信事業	荒尾市（市公式メディア「ぎゃんすき！あらおちゃん」）	Instagram を中心としつつ各種 SNS を活用し、主に若年層向けのイベント情報や市の魅力を発信する。
国内向け情報発信事業	荒尾市観光協会	WEB 媒体（HP、SNS、グーグルビジネスプロフィール、動画サイト等）を主とした、地域情報の収集及び発信。
海外向け情報発信事業	熊本県観光連盟	Facebook（英語・繁体字：週 3 回以上、タイ語：週 1 回以上）、Instagram 及び NAVER ブログ（韓国語）にて週 2 回以上、観光情報を発信。

各種 HP の充実		
観光パンフレットの HP 掲載	荒尾市観光協会	観光協会 HP 内に、紙媒体で発行したパンフレット等を掲載する。
動画による情報発信の強化	荒尾市観光協会	YouTube チャンネル及び SNS において、定期的に、動画を活用した観光情報やイベント情報を発信する。YouTube チャンネルには 12 本投稿する予定。
イベント情報等掲載	熊本県観光連盟	「イベント」ページにて荒尾市個別のイベント情報を掲載。 「旅のおすすめ記事」ページにて毎月のあらたまおでかけ情報を掲載。 「旅のおすすめ記事」ページにて年 1 回あらたまピックアップ記事掲載。
有料広告の活用		
大型イベントに合わせた観光情報発信	荒尾市	効果的な情報発信のため、夏～秋の大型イベントに合わせ、市内観光情報も発信する。詳細未定。
パブリシティ獲得に向けたメディア等との関係構築		
メディア等への情報提供	荒尾市	随時、ラジオや WEB メディア等への情報提供を行い、取り上げてもらいやすい動機とする。
官民連携による観光キャンペーン等の展開		
第 27 回荒尾市観光 PR キャンペーン	グリーンランド 荒尾市観光協会 荒尾市	観光キャラバン隊を結成し、九州各県のメディアを訪問。グリーンランドの春催事情報をはじめとした情報発信を行い、官民一体となった誘客 PR を実施する。

基本施策② 「旅ナカ」での情報発信の強化

観光ポスターやアプリ等を活用した情報発信の強化		
観光情報季節情報誌「こんな」作成事業	荒尾市観光協会	季節ごとの観光情報を掲載した情報誌「こんな」を、年 2 回発行する。 ■ 夏号 荒尾おもて梨直売会と共催で実施する販売促進キャンペーン「荒尾梨でおもてなしキャンペーン」情報掲載予定。 ■ 春号（仮） 内容未定。
観光ポスターを活用した情報発信	荒尾市	R6 作成した観光ポスターを市内外に掲示し、荒尾市の見どころを周知するとともに、観光イメージの定着を図る。（配布目標数：市内 50 か所、市外 50 か所）
観光アプリ「おでかけあらお」を活用した情報発信	荒尾市	アプリの掲載情報について適正な管理を行う。

基本施策③ 営業活動等の実施

教育旅行誘致に向けた営業活動の実施		
教育旅行営業活動	荒尾玉名教育旅行推進協議会	R8 年度及び R9 年度の予約獲得のため、旅行会社に向けた営業活動を行う。 九州への来訪が見込める関西方面や中国方面等を対象エリアとし、学校の方面決定スケジュールに応じた時期に実施予定。（3 回予定：4 月神戸市、以降未定） 年度途中の相談にも応じ、受入につなげる。

セールスの実施	熊本県教育旅行受入促進協議会	年数回実施。回数方面はその年により異なる。
九州観光機構主催の教育旅行素材説明会	熊本県観光連盟	夏頃実施予定。名古屋・大阪・東京・広島を訪問。
修学旅行へのくまモン出動支援	熊本県観光連盟	受協会員のホテルを利用の学校にはくまモンのお出迎え対応。
訪日旅行誘致に向けた商談会等の実施		
台湾現地旅行博ブース出展	熊本県観光連盟	情報収集を行い、適宜パンフレットの送付等を実施し、本市の PR を図る。

基本方針 3 周遊しやすい環境の整備と宿泊の促進

KPI 指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R7)
JR 荒尾駅乗車人員	1,023 人/日	776 人/日	835 人/日	887 人/日	920 人/日	未公表		1,500 人/日
おもやいたクシー年間利用者数	—	4,056 人	11,830 人	13,910 人	16,397 人	15,536 人		1.4 万人
Arao Pay 導入事業者割合（飲食・サービス・小売り）	—	60%	44%	77%	100%	100%		90%
宿泊客数	164,919 人	121,970 人	119,915 人	144,880 人	165,936 人	172,483 人		20 万人

基本施策① ストレスなく楽しめる環境整備

事業名	実施主体	概要
二次交通の利便性向上		
おもやいたクシー利用促進事業	荒尾市	モビリティ・マネジメント等を通じ、市内全域を運行し、路線バスと一般タクシーを補完する乗り物として、広く PR する。また、健康づくり事業（からだ元気教室）や高校生と連携した利用促進事業を通じて、おもやいたクシーをはじめとする各社公共交通の周知に努める。
観光案内機能や誘導サインの整備		
観光案内看板の適正管理	荒尾・玉名地域サイン計画推進協議会	有識者点検による適切な管理を行うとともに、域内の荒尾市施設に係るサインについて 2 か所板面洗浄の予定。
キャッシュレスの推進		
Arao PAY	荒尾商工会議所	電子マネー AraoPAY を活用したプレミアム付電子商品券の発行に向けて検討を行う。

基本施策② 誘客拠点施設との連携強化

誘客拠点施設からの送客強化		
荒尾駅前活性化事業	荒尾市 他関係団体	民間事業者や地域団体等とも連携のうえ、荒尾駅の駅前広場やその周辺において、社会実験やイベント等の取組を実施し、荒尾駅周辺におけるにぎわいの創出や回遊性の向上を図る。
道の駅あらお（仮称）における情報発信事業	荒尾市 ㈱梨の花（指定管理者） 荒尾市観光協会	R8 年 6 月の開業に向けて、指定管理者である㈱梨の花、荒尾市観光協会と協力して地域情報を収集し、HP、SNS、情報発信施設を活用しタイムリーに地域情報を発信できるよう準備を整えておく。
観光×交通アプリによる観光周遊促進事業	荒尾市	これまでのイベントでの活用状況を踏まえ、観光・交通アプリの利用方法を見直す。

基本施策③ 宿泊旅行の推進

基本施策④ 広域連携の推進

広域的な情報発信の強化		
荒尾干潟水鳥・湿地センター・金魚と鯉の郷広場交流促進事業	荒尾長洲地域資源活用推進協議会	湿地センターと金魚と鯉の郷広場を結ぶ沿岸域の活性化・誘客促進を図るため、市外からの参加者が多い JR ウォーキングにおいて荒尾と長洲の食の PR を行い、8 月には熊本市近隣の商業施設において干潟の貝殻を使ったワークショップ、長洲町の金魚すくい体験ができるイベントを行い、市町の魅力の発信を行い、荒尾市・長洲町への誘客促進を図る。 この他、レンタサイクルの周知啓発を行い、公共交通機関利用者の誘客、湿地センター・金魚の館の相互利用の促進を図る。

有明定住自立圏域における SNS を活用した情報発信事業	有明定住自立圏域広域観光振興部会	Instagram 公式アカウント（有明タイムズ）を活用したコンスタントな情報発信及びイベントにより圏域への誘客を図る。また、佐賀空港デジタルサイネージでの観光 PR 動画放映や福岡都市圏に向けた PR チラシ設置により、インバウンドに向けた情報発信を行う。
熊本デスティネーションキャンペーンにおける連携	荒尾市 荒尾市観光協会	熊本県及び JR 九州主催で R8 年夏に実施される「熊本デスティネーションキャンペーン」のプレキャンペーンに参加することで、全国の旅行会社等へ荒尾市の観光素材を PR する。 8/27 全国販売促進会議 8/28～29 エクスカーション
特産品の販路拡大		
観光列車「36 ぷらす 3」でのおもてなし事業	荒尾・玉名地域観光推進協議会	毎週木曜運行している「36 ぷらす 3」の乗客に対し、荒玉地域一体となったおもてなしを実施する。（JR 玉名駅停車時間での特産品等販売、博多駅～玉名駅の区間車両乗り込み PR 等）

基本方針 4 人材育成・観光地域づくりの推進

基本施策① 観光地域づくり組織の構築

事業名	実施主体	概要
観光地域づくり人材の確保・育成		
地元学生との意見交換	荒尾市	九州看護福祉大学との連携（インターンシップ受入）で、荒尾の観光スポットを題材にした研修を実施。
地元学生の大型イベントへの参加	荒尾市観光協会	大型イベントにおいて、有明高校ボランティア部が現地スタッフとして参加する機会を設け、地元観光産業への関心及び理解を深める。
観光 DX（データ活用）の推進		
データ収集及び利活用	荒尾市観光協会	HP 閲覧地域や SNS 広告等による閲覧ユーザーの情報を収集し、荒尾市のイベントに関心のある地域に向け積極的に情報発信を実施する。